

百万石ジュニアオープンバドミントン大会 競技・審判上の注意

1. 本大会は、平成 28 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則および同大会運営規程並びに同審判員きていにより行います。
2. 審判は、全て本部にて行います。なお、サービスジャッジは、原則として配置しません。
3. 予選リーグはブロック戦とし、各ブロック 1 位のチームが決勝トーナメント戦に進出します。
予選リーグにおける順位の確定は以下の方法で行います。
 - (1) 勝敗による
 - (2) マッチ率による
 - (3) 上記(1)(2)が同率の場合、得ゲーム率
 - (4) 上記(1)~(3)が同率の場合、得ポイント率
 - (5) 上記(1)~(4)が同率の場合、直接対決の勝利チーム
4. 団体戦の予選リーグの対戦は勝敗に関わらず、全てのマッチ（試合）を行います。
5. 団体戦の決勝トーナメントは、2 マッチ先取とします。
6. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。対戦チームが揃ったら、係員の立ち会いのもとでオーダー交換を行います。
7. 選手および監督・マネージャーまたはコーチは、試合開始のコール後、直ちに指定コートに集合して下さい。コール後 5 分を経過しても集合できない場合は「棄権」とみなすことがありますのでご注意下さい。
8. マッチ(試合)の進行状況によっては、試合開始時刻や使用コートを変更することがありますので、放送には十分ご注意下さい。
9. 各コートバックバウンダリーライン後方に、ベンチとコーチングシート 2 席を設置します。監督・コーチは、公認審判員規程第 3 条第 5 項 6 号を厳守し、マッチ(試合)にふさわしい服装で望んで下さい。
10. マッチ(試合)前の公式練習はありません。朝の公式練習および練習会場(第 2 競技場)をご活用下さい。
11. マッチ(試合)中の水分補給、汗ふき、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得て下さい。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
 - (1) ドリンク容器は、倒れてもこぼれにくい蓋付きボトルを使用し、審判台横のかごに入れて下さい。
 - (2) 氷嚢は、ベンチまたはコーチングシートで小型の保冷バッグ等に入れ、保管して下さい。
12. 競技規則第 16 条 7 項により、以下のような行為は警告、フォルトまたは失格となりますので注意して下さい。
 - (1) プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。
 - (2) 故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。
 - (3) 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度を下品で無礼な態度や言動。
 - (4) コート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や叫び声を発するなど、競技規則を超えた不品行または不快な行動。
13. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここでの質問のできる者とは、団体戦においては当該選手と監督、個人戦では当該選手に限ります。
14. マッチ(試合)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチングシートに座って行い、マッチ(試合)中はコートの側に立ってはいけません。また、監督・コーチが他のコートに移動したい時は、必ずインプレーでない時に行って下さい。
15. 競技フロア内での携帯電話の使用は一切認めません。
16. マッチ(試合)中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
17. 選手はマッチ(試合)開始前および終了後に、主審との握手を励行して下さい。
18. 上記の他、監督会議において確認した内容に従うようにお願いします。

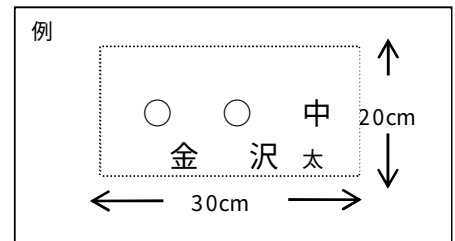
百万石ジュニアオープンバドミントン大会 参加細則

1 規 定

- (1) 団体戦のマネージャーは、出場校の教員又は生徒とする。外部指導者（コーチ）は、日常の部活動指導に携わっている者とし、出場校の校長が認めた者とする。なお、団体戦でベンチ入りができる者は、監督、マネージャーまたはコーチ、選手とする。コーチは、同一人が複数校のコーチにはなれない。
- (2) 団体戦の選手変更及び監督、マネージャーまたはコーチの変更については、疾病や傷害などの特殊な場合のみとし、監督会議の開始前に大会事務局に申し出る。なお、選手の追加は認めない。
- (3) 個人戦でベンチ入りできる者は、監督、選手を基本とする。但し、団体戦との重複出場の個人戦出場者の場合には、団体戦に登録してある監督、マネージャー（出場校の教員又は生徒）、外部指導者（コーチ）、及び選手は、ベンチ入りができる。
- (4) 監督、マネージャーまたは外部指導者（コーチ）、選手は、本大会が全国の中学校生徒を基盤とした学校教育活動下での大会であることを認識し、その意義や品位を保つために、服装等を整えるとともに、大会運営に協力すること。

2 服装等について

- (1) 競技上の服装は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上衣の裾は下衣の中に入れて競技を行うこと。防汗や整髪のために、ハチマキの使用は認めるが、体裁良く結ぶこと。インナーウェアについては、審査合格品ウェアから露出するものは審査品とする。
- (2) 上衣の背中中央部には、縦20cm、横30cmの範囲内に校名および姓の表示をすること。日本文字(楷書)で明記すること。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字を小さく入れること。



3 競技中について

- (1) マッチ(試合)前の公式練習は、ありません。
- (2) 団体戦については、3コート並行して実施する。
- (3) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。
- (4) 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。
- (5) シャトルがインプレーでないときに限り、プレイヤーはマッチ（試合）中のアドバイスを受けることができる。プレイヤーはインターバルを除き、マッチ中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。
- (6) 競技中の汗拭きは、マッチ（試合）を中断しないように心掛ける。また、水分補給については、主審の許可を得て行い、スクイズボトル等を使用すること。

4 その他

(1) 諸会議及び開閉会式について

- ① 監督会議は、5月28日（土）8時20分より「第1会議室」で開催する。
- ② 開会式は、5月28日（土）9時より 第1競技場 で開催する。
- ③ 閉会式（表彰式）は、5月29日（日）の個人戦決勝終了後、準備ができ次第、第1競技場で行う。